

相談員研修

法人内「相談員研修」が4月26日・27日の2日間、法人内の特養、老健、GH、養護、ケアハウス等入居系事業所の生活相談員を対象に高齢者ケア研修センター財田の杜で開催されました。

今回は例年とは大幅にプログラムを変更し、法人の将来を担うことが期待される相談員の皆さんのために、これまで以上に実践的な演習を重視した内容としています。

東日本大震災の被災地支援を終えた職員から防災対策のポイントを学んだり、人材育成やリスクマネジメント、チームマネジメントやプレゼンテーションなど多岐に渡る内容を事例検討、グループワーク等の演習を中心にしています。

参加した方からは、『内容が濃かった』、『実践的であった』などの好意的な声が挙がる一方で『研修の狙いがわかりづらかった』、『こう変えた方がよくなるのでは?』などさすが相談員と思わせられるご意見がアンケートで寄せられました。まだまだ改善の余地がありますので、次回以降は、より効果のあがる研修となるよう委員会で取り組んでいきます。

法人行動規範第7委員会

1日目の様子 深夜まで課題に取り組んでいました



- ・ 傷をなめあい、ミスをかばい合うのはチームではない。
- ・ チームのために自分に何が出来るか考え、行動に移せるスタッフに育ててほしいのであれば、まず自分なりのさ。
- ・ 目標を持ちなさいよ。たとえ出来ないとしても、ぶれてはだめなのさ。
- ・ 自分の中にちゃんとしたものがあれば、迷った時には「心がきめてくれる」ものです。
- ・ 叱られているうちが花ですよ。

『リーダーの育成』で講師が資料で使った「職場同僚からの相談員への言葉〔抜粋〕」です。
初心忘るるべからず、というところでしょうか。



2日目の様子 参加者全員が前で発表をしています。



(相談員たちの発表の様子です。左から本間さん、川村さん、岩谷さん、波方さん)



(左から板澤さん、岩井さん、村上さん、高橋さん)



(左から萩原さん、白井さん、松岡さん)

